




# 平成28年3月期 決算説明会

 **大阪製鐵株式会社**

平成28年5月23日

 **大阪製鐵株式会社**

 **新日鐵住金グループ**

## 本日の内容

- I . 平成28年3月期 決算実績
- II . 平成29年3月期 年度決算見通し
- III . トピックス
- IV . 質疑応答

代表取締役社長 内田純司

 **大阪製鐵株式会社**

# I . 平成28年3月期 決算実績

1. 連結損益状況
2. 連結経常損益分析(対前年同期増減)
3. 製品市況およびスクラップ市況推移
4. 鋼材販売価格推移
- 5- (1). 連結比較貸借対照表(資産の部)
- 5- (2). 連結比較貸借対照表(負債および純資産の部)
6. キャッシュフロー
7. 主な財務指標

## 1. 連結損益状況

対前年同期増減

(単位:百万円)

	H26年度実績	H27年度実績	増減
売上高	67,678	54,677	△13,000
営業利益	9,085	8,100	△984
経常利益	9,142	8,284	△858
特別利益	*1 363	*3 3,828	+3,464
特別損失	*2 △57	*4 △1,201	△1,144
当期純利益	6,215	10,350	+4,134
売上高経常利益率	13.5%	15.2%	+1.7%

\*1 固定資産売却益 255百万円      \*2 固定資産売却損 △57百万円  
 投資有価証券売却益 108百万円

### ※3.4 平成27年度特別損益内訳

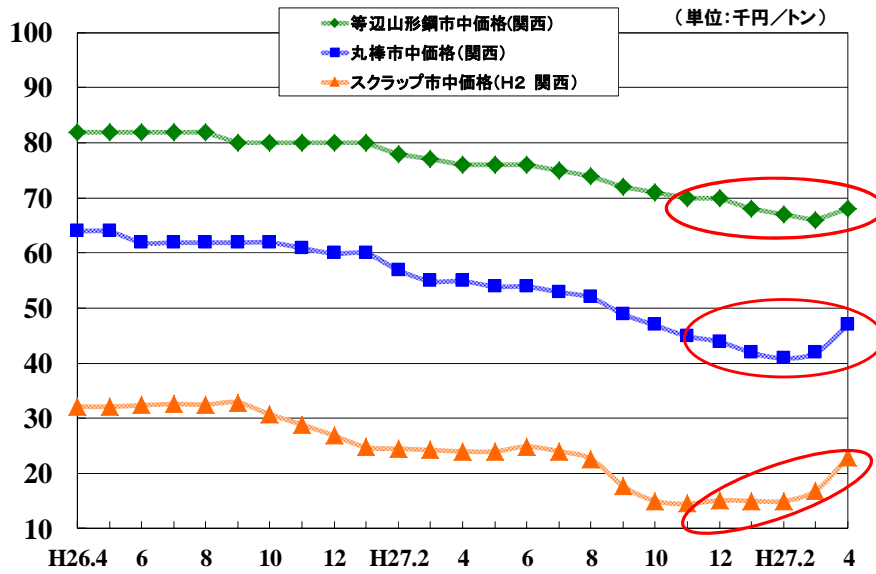
(単位：百万円)

新北海清算関連	253
東京鋼鐵関連 負ののれん益 (株式取得比率84.41%)	3,575
特別利益 小計	3,828
大阪生産体制最適化対策	△ 641
熊本ガス還元炉関連	△ 560
特別損失 小計	△ 1,201
特別損益 計	2,627

## 2. 連結経常損益分析(対前年同期増減)

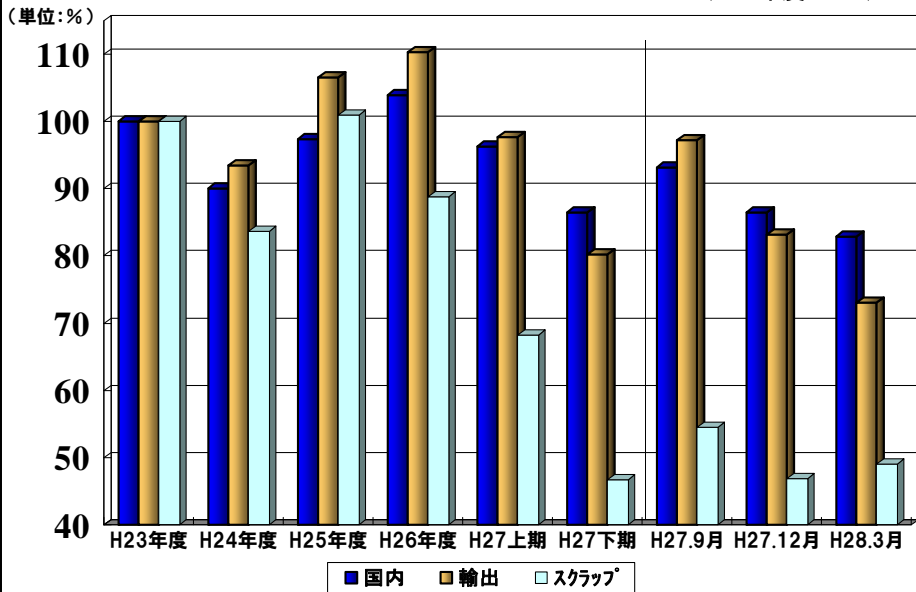
(1)販売価格低下	△82 億円
(2)スクラップ価格低下 (△11.0千円/トン低下)	○93 億円
(3)生産・出荷量の減少	△12 億円
(4)エネルギー価格下落	○12 億円
(5)コスト上昇	△4 億円
(6)払出差額(在庫影響)等	△15 億円
<b>損益差異</b>	<b>△8 億円</b>

### 3. 製品市況およびスクラップ市況推移



大阪製鐵株式会社

### 4. 鋼材販売価格推移



大阪製鐵株式会社

## 5-(1). 連結比較貸借対照表

### ●資産の部

(単位:百万円)

科目	平成27年3月末	平成28年3月末	増減
<b>流動資産</b>	<b>99,487</b>	<b>99,939</b>	<b>+452</b>
現金同等物	58,090	59,961	+1,870
受手・売掛・未収入金	19,569	18,582	△987
棚卸資産	11,183	10,189	△994
関係会社短期貸付金	10,000	10,000	-
その他	643	1,206	+562
<b>固定資産</b>	<b>47,840</b>	<b>56,692</b>	<b>+8,851</b>
有形固定資産	46,180	54,584	+8,403
無形固定資産	15	50	+35
投資有価証券	1,364	1,569	+205
その他	280	488	+208
<b>資産合計</b>	<b>147,328</b>	<b>156,632</b>	<b>+9,304</b>

大阪製鐵株式会社

8

## 5-(2). 連結比較貸借対照表

### ●負債および純資産の部

(単位:百万円)

科目	平成27年3月末	平成28年3月末	増減
買掛・支手	6,304	5,167	△1,137
未払法人税等	2,993	473	△2,520
繰延税金負債	1,930	1,886	△44
未払金等	6,761	8,019	+1,257
<b>負債(流動+固定)合計</b>	<b>17,990</b>	<b>15,546</b>	<b>△2,444</b>
資本金	8,769	8,769	-
資本剰余金	10,648	10,648	-
利益剰余金	112,450	121,516	+9,065
自己株式	△4,532	△4,533	△1
<b>株主資本合計</b>	<b>127,336</b>	<b>136,401</b>	<b>+9,064</b>
その他の包括利益累計額	856	701	△154
非支配株主持分	1,144	3,983	+2,838
<b>純資産合計</b>	<b>129,337</b>	<b>141,085</b>	<b>+11,748</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>147,328</b>	<b>156,632</b>	<b>+9,304</b>

大阪製鐵株式会社

9

## 6. キャッシュフロー

(単位:百万円)

税金等調整前当期純利益	10,911
減価償却費	2,400
売上債権・仕入債務・未収入金の増減	2,101
棚卸資産の減少	1,930
法人税等の支払い	△4,035
特別損益事項	△2,626
その他	△817
<b>営業活動によるキャッシュフロー</b>	<b>9,864</b>
固定資産の取得による支出	△3,240
子会社株式の取得による支出	△3,933
関係会社貸付金の回収	10,000
関係会社貸付	△10,000
その他	48
<b>投資活動によるキャッシュフロー</b>	<b>△7,125</b>
少数株主からの払込による収入	496
配当金の支払等	△1,363
<b>財務活動によるキャッシュフロー</b>	<b>△867</b>
<b>現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△1</b>
<b>現金及び現金同等物増加 (58,090→59,961)</b>	<b>1,870</b>

大阪製鐵株式会社

10

## 7. 主な財務指標

製造業の平均 鉄鋼業界の平均

	H26/3E	H27/3E	H28/3E	H26Fy	H26Fy
自己資本比率	87.9%	87.0%	87.5%	45.3%	40.8%
1株当たり純資産	3,146円	3,294円	3,522円		
当社株価 PBR	1,809円 0.58	2,133円 0.65	1,842円 0.52		
総資産経常利益率	3.7%	6.4%	5.5%	5.5%	4.5%
<売上高経常利益率> [ 単 独 ]	<7.5%> [9.1%]	<13.5%> [13.9%]	<15.2%> [16.2%]	<5.9%>	<5.1%>
<総資産回転率>	<0.50回>	<0.47回>	<0.36回>	<0.94回>	<0.88回>

大阪製鐵株式会社

11

## Ⅱ . 平成29年3月期 年度決算見通し

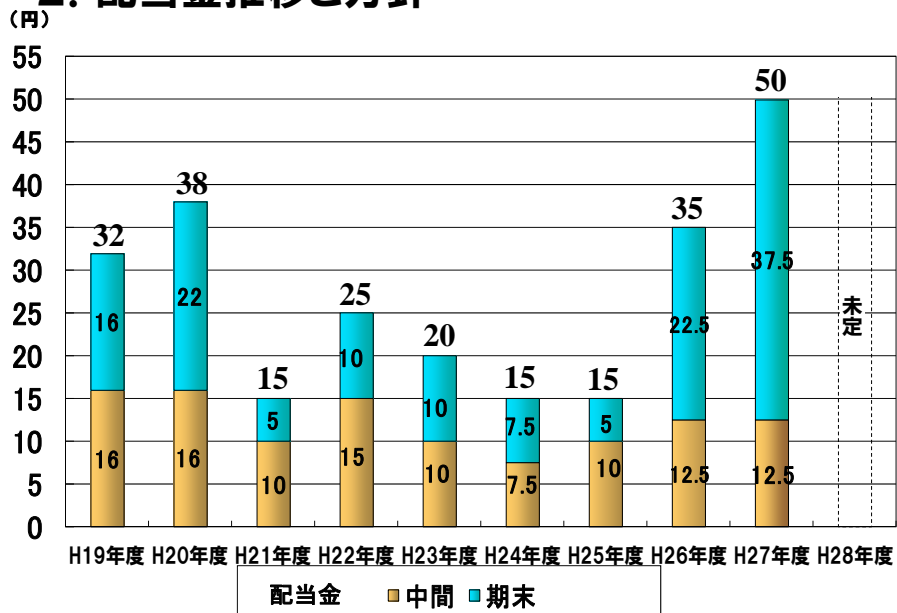
1. 年度連結損益見通し
2. 配当金推移と方針
3. 西日本熊本工場の被害と復旧状況
4. 主な設備投資について

### 1. 年度連結損益見通し 対前年度増減 (単位:百万円)

	H27年度実績	H28年度見通し
売上高	54,677	未定 本年4月に発生した平成28年熊本地震の及ぼす影響が不透明であることから、合理的な予想が可能になった時点で速やかに開示する。
営業利益	8,100	
経常利益	8,284	
特別利益	3,828	
特別損失	△1,201	
当期純利益	10,350	

※東京鋼鐵をH27年度末に連結したことから、H27年度実績は同社のPLは連結していない。(特別利益に負ののれん発生益のみ計上)  
東京鋼鐵が4/27に公表したH28年度見通し  
売上高117億円、経常利益11億円、当期純利益7.5億円

## 2. 配当金推移と方針



## 3. 西日本熊本工場の被害と復旧状況

(5月20日現在)

- (1) 生産状況 : ①製品出荷 5月10日より再開  
②圧延設備 本日5月23日より  
生産再開予定
- (2) 工場建屋等 : 外壁や屋根一部崩落等あり  
順次復旧作業中
- (3) 製鋼設備 : 電気設備を中心に詳細調査・点検中  
操業再開に向け検討継続しているが、  
現在のところ再開の時期は未定



## Ⅲ . 本日のトピックス (today's agenda)

### 〔1〕当面の経営環境

1. 資源ブームの終わり
2. 新興国の減速と中国経済の変質
3. 国内市場の成熟そして減速

### 〔2〕当社の目指す姿

「Something New」、「うちにしかできない」、  
商品力とサービスで質の高い会社を目指す

1. 収益安定確保 — 国内事業(コスト競争力の強み)
2. 売上を伸ばす — 海外事業(新興国需要捕捉)
3. 次の収益源を育てる — 独自の新商品、サービス

# 終了

本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。